

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業		
事務事業名	乳幼児アレルギー・ぜん息予防事業		シート番号	014-019	
担当部署名	子ども青少年 局	子ども青少年育成 部	子ども育成 課	評価責任者(課長名)	橋本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	無
	2	事業開始年度	平成 1 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	公害健康被害の補償等に関する法律			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	近年、大気汚染やホルムアルデヒド等のシックハウス症候群、食物添加物等による子どものアレルギー疾患(アレルギー性鼻炎・気管支ぜん息)が増えてきている。アレルギーや気管支ぜん息の発症のおそれが高い児を発見し、予防教室や診察などを行い発症の予防を図る。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	本市に居住する乳幼児(1歳6か月児健診対象者、3歳児健診対象者)及びその保護者					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	アレルギーや気管支ぜん息の発症の未然防止					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	アレルギーや気管支ぜん息に関する問診や発症防止のための適切な指導を行う。1歳6か月及び3歳児健康診査時に実施するアンケートにより、アレルギーや気管支ぜん息の発症のおそれが高い児を発見し、適正な保健指導を行う。					
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						

Ⅲ. 投入量

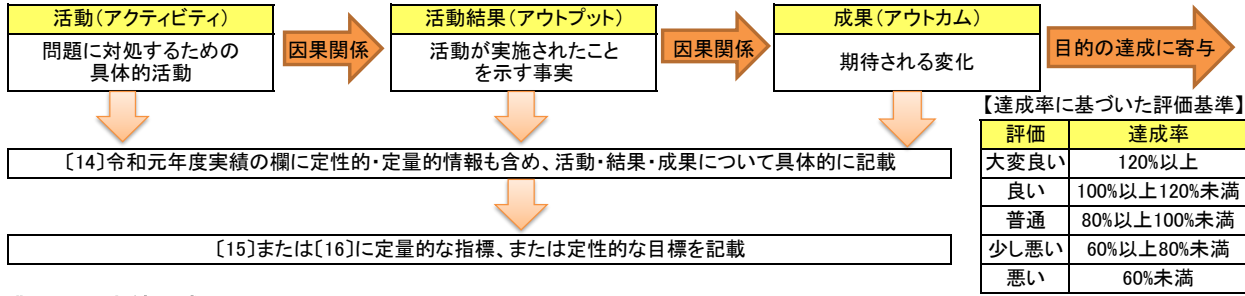
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	7,122	6,315	7,122	5,990	7,122	5,564	5,084	
主な事業費内訳	報酬(医師)	千円	1,176	1,092	1,176	868	1,176	728	
	報償費(看護師)	千円	4,340	3,918	4,340	3,832	4,340	3,474	3,534
	需用費	千円	372	226	372	233	372	371	290
	役務費	千円	1,234	1,078	1,234	1,057	1,234	1,057	1,260
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他(公害健康被害予防事業助成金)	千円	7,122	5,731	7,122	5,989	7,122	5,564	5,084
一般財源	千円		584		1				
12 人件費 (b)	千円	410	410	410	410	405	405	164	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	7,532	6,725	7,532	6,400	7,527	5,969	5,248	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	乳幼児アレルギー・ぜん息予防事業	シート番号	014-019
-------	------------------	-------	---------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	1歳6か月及び3歳児健康診査時にアレルギー・ぜん息に関するアンケート(質問票)を実施。アレルギーや気管支ぜん息の発症のおそれのある児の保護者に対し、発症防止のための適切な保健指導を行った。						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		アレルギー・ぜん息に関する質問票回収率(1歳半、3歳)	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	97	98	87		
			達成率	97%	98%	87%		
			評価	普通	普通	普通		
	算出方法・設定根拠など		質問票回収率100%を目標とする。					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		目標値						
		実績値						
		達成率						
		評価						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	質問票回収件数	件	13,288	13,222	11,778	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	6,725	6,400	5,969	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	506	484	507	
	備考(算出についての説明等)						
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①						
	②	上記①にかかる年間経費	千円				
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位				
備考(算出についての説明等)							

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	アンケート(質問票)をもとに必要な保護者に対し保健指導を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大による健康診査の延期の影響により回収率が下がった。(2月末までのアンケートの回収率は97.6%)	

- 【分析のチェックポイント】**
- 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	乳幼児アレルギー・ぜん息予防事業	シート番号	014-019
-------	------------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 本事業は乳幼児を対象として、アレルギーの症状や家族歴に関する問診を行い、気管支ぜん息を中心としたアレルギー疾患の危険因子を有する児の保護者を対象に、適切な保健指導を行うことにより、気管支ぜん息の発症の防止を図ることを目的として実施しており、アレルギー等の発症予防のため、必要な事業である。また、本事業は、独立行政法人環境再生保全機構から助成金の交付を受け実施している。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 乳幼児のアレルギー等の発症予防のため、必要な事業であるため。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 効率的に実施するため、乳幼児健康診査と同時実施している。また、本事業は、独立行政法人環境再生保全機構から助成金の交付を受け実施している。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 今後、感染拡大時には、その都度対象人数の制限を行うなど、状況に応じた対応を行う。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は<input checked="" type="checkbox"/>、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は<input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明	公害健康被害の補償等に関する法律及び公害健康被害予防事業助成金交付要綱に基づき、独立行政法人環境再生保全機構から助成金の交付を受け実施している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	乳幼児を対象として、アレルギーの症状や家族歴に関する問診を行い、気管支ぜん息を中心としたアレルギー疾患の危険因子を有する児の保護者を対象に、適切な保健指導を行う。予防教室については、見直しを行う。		